

講義名	キャリア実践論（3年生のみ）			授業形態	
担当教員	後藤 奈々子	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は、多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就職活動は、スタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。就職活動は3年生の後期から準備が始まり、4年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就職活動対象者は自分の強みや長所を再確認し、志望理由を明確化させる必要がある。また、企業が期待する人物像や求めるコンテキストを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意義（価値観）や自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

到達目標

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとって良い会社の条件」の問いに対して、しっかりとした考え方を身につけること。その上で、自己PRの作成方法と会社選びの基準作りを学び、総合的な就職力を高めていくことである。

- 自分の強みと弱みの分析から自己PRをまとめることができるようになる
- 業界および企業研究の内容を自己PRや志望動機につなげることができるようになる
- 就職力を高め、自分なりの目標設定と就職戦略を策定できるようにする

提出課題

- 毎回の授業に関連したミニレポート
- 課題レポート
- 基礎能力小テスト
- 最終レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業に関連したミニレポートについては、次の授業の冒頭でフィードバックを行う。課題レポートや小テストについては、提出した次の授業で全体講評および傾向のフィードバックを行う。

評価の基準

- 毎回の授業に関連したミニレポート（45点）
 - 課題レポート（10点）
 - 基礎能力小テスト（10点）
 - 最終レポート（35点）
- 15回の授業のうち、3分の1（5回）を超える欠席者は評価対象外とします。ご注意ください。最終レポートの提出は必須です。必ず提出してください。

履修にあたっての注意・助言他

- この授業は、いずれ社会に出ていくための練習の場です。社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る・私語を慎む等）を守って出席してください。
- 授業内ではペアワークやグループワークを実施します。一定の自己開示と、自分も他者も尊重する態度との助けを心がけてください。
- 3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えます。就職希望の学生は必ず受講し、日ごろから新聞等で社会生活についての情報に関心を持ってください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業で使用する資料は適宜配布し、参考文献は授業内で紹介します。

授業計画

- オリエンテーション キャリア実践への動機づけ
- 自己理解 過去の経験の整理
- 自己理解 価値観や自己概念の発見
- 他者理解 他者の価値観を学ぶ
- 他者理解 業界・企業研究の仕方
- 自己分析 他者から見える自分
- 進路検査の傾向と対策
- 筆記試験の傾向と対策
- 自己表現 履歴書・エントリーシートの書き方
- 集団での役割分担 グループディスカッション
- 働くをイメージする 働く意義
- 働くをイメージする マナーと心づ
- 面接対策 マナーと心づ
- 面接対策 自分自身を語る
- まとめ 最終レポートの完成

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 日ごろから、「キャリア」「就職」「労働」「雇用」「ビジネス」などといったキーワードに注目し、意識的に本・新聞・雑誌等でニュースや情報をチェックする習慣をつける（毎回1時間）
- 授業内で紹介した参考文献や参考資料に目を通し、自身の考えや意見をまとめる（毎回30分）
- 授業で学んだこと（自己分析の方法・業界地図や四季報の見方・SPIなどの筆記試験対策）を復習し、自ら実践する（毎回30分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）、また働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること、さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために実践的な演習を交えて展開することを目指す授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適正と準備探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行うとともに、就職力を高めるための実践的科目」というキャリア科目のCPと合致していると考えます。また、自らの目標に向かって計画的に物事を遂行する力を養うことに重点をおいた授業であり、「自主・自立の精神を持った人材」という本学のCPと合致していると考えます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回、授業冒頭でミニレポートや課題レポートのフィードバックを実施し、必要に応じて解説や回答を行う。また、授業内で適宜Responを使用した設問やアンケートを実施し、リアルタイムで意見の交換を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
キャリアコンサルタントとして、大学生の就職支援や企業・自治体職員のキャリア相談員およびキャリア研修講師に従事。葛藤に寄り添い、社会や他者・自身と向き合うスキルやマインドについて、専門的な知見からお伝えします。

備考

この授業は「対面型」で実施します。新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者、または濃厚接触者に指定され一時的に通学が困難となった学生には、別途個別に相談しながら対応していきます。また、状況によって、シラバスを一部変更する可能性があります。